

11月27日（月）その101 燃える「合唱コンクール」

24日（金）は、久しぶりに島尻地区中学校音楽発表会（学級合唱）を聞きに行った。最初は取材のつもりで行った。12月に60分の講話をする東風平中の合唱が一番目にあることを知っていたので、それを聞きに行った。正確にいうと写真を撮りに行った。事務局からの諸注意があり、「写真は撮ってもいいけど、ネットなどには載せないで・・・」と言っていた。「はい、わかりました！」（笑）隠れて撮るつもりだったけど、堂々と撮ることができた。私のデジカメはポケットに入るコンパクトタイプだけど、多少暗くても鮮明に写るし、離れていてもアップの写真が十分撮れる。（ちょい自慢！）

2～3校聞いたら帰ろうと思っていたが担任時代の熱い思いがよみがえってきて、席を立てなくなると16校全部聞いてしまった。私は合唱などを聴いて感動するとすぐに涙が出る。今年は「旅立ちの時」という歌が人気のようで、5校の代表が歌っていた。

最後の学級担任をしたのが南風原中3年2組だ。私は学級の子ども達を選んだ合唱曲のパート練習用のテープを毎日車で聞いた。中学校の学級合唱は、3パートで歌うのが普通だから、その全てのパートを覚えた。合唱コンクールの練習は、音楽の時間だけでなく、放課後や昼休みなどの時間を使って学級でも、担任と一緒に練習するのだ。

「その日」、私は学生服を着て出ることにした。40才だったと思う。真剣勝負なので本番中に「笑い」が起きたら困ると思って、給食時間に3年生の全学級を学生服を着たまま回って、あらかじめ笑われておいた。

学生服の担任の歌唱も加点要素だったに違いない（笑）。でもマジで2組のときは素晴らしかったが・・・「銀賞」だった。「嘘だろう、何で金じゃないの？」と納得がいかなかったが、審査員には逆らえない。（笑）

それくらい燃えるのが、中学校の合唱コンクールなのだ。学級の団結力も高まって、3学期の「受験」、「卒業式」へと突き進む。3年2組は、在籍する36人全員が希望する高校に合格した。平成8年の話だから、彼らは今35～36歳くらいだろうか？

中学校では夏休み前に歌う曲を決めるのが普通だ。ピアノ伴奏の生徒は、夏休みに練習をする。そして2学期から歌の練習を始める。最初は、「先生、うちのクラスは男子が歌わない！」とか、女子から訴えがあったりする。でも全員が一生懸命にやるのが合唱コンクールだと男子も知っているから、ぐずぐずして女子に尻を叩かれながらも、全員が本気になっていく。不登校の子を学級の生徒全員で巻き込んだりして、「学級全員で歌おう！」という気運が高まって生徒達が主体的に動く。感動的な光景を何度も見た。学級が一つにまとまっていくことを、生徒達が実感する。学級作りには最高の行事の一つである。中には全くノータッチの担任もいるが・・・、子ども達が燃える学校行事は、まず担任が燃えなくちゃ!!!

新学習指導要領の「特別活動」は、先行実施される。「主体的、対話的で深い学び」がキーワードだが、中学校における「学級合唱の取組」は十分「主体的、対話的で深い学び」となっているのではないか。何を歌うのかみんなまで話し合っ、主体的に練習を始め、問題が持ち上がると対話的に解決していくプロセス・・・まさに新学習指導要領を先取りした実践になっているのだ。

11月28日（火）その102 守るものがあるから強くなれるー安室奈美恵ー

「安室奈美恵が、ちゃんと中学を卒業しているかを調べて欲しい。」と、外務省の職員から私に電話があった。私は石嶺中（だったかな？）の校長先生に電話をして確認をし、外務省のその職員に「ちゃんと卒業しています。」と返事をしたのを覚えている。西暦 2000 年（H12）のことだ。

当時私は義務教育課の指導主事で、教育庁内での「九州・沖縄サミット」の担当だった。その後、各国首脳が集う万国津梁館での晩さん会で、日本の歌姫として安室奈美恵が「ネバーエンド」という歌を歌うと発表された。

平成 7 年頃だったと思うが、「ポンキッキーズ（子ども番組）に出ている沖縄の子、ダンスや歌がうまくて人気あるみたいよ」と誰かから聞いた。それからすぐに「TRY ME～私を信じて～」という歌で、一気に人気歌手になった。その後ミリオンを連発し、特に「SWEET 19 BLUES」というアルバムは 300 万枚のトリプルミリオンを達成して人気が発爆した。またその後のシングル「CAN YOU CELEBRATE？」は、230 万枚を売り上げた。

茶髪でロングヘア、ミニスカート、細い眉に厚底ブーツといった彼女のファッションを真似する若い女性が急増して「アムラー」と呼ばれ、社会現象になった。「Don't wanna cry」「CAN YOU CELEBRATE？」で 2 年連続レコード大賞を受賞。それから人気絶頂時に突然の結婚、出産、離婚を体験した。

23 日の NHK の「安室奈美恵告白」を見た。デビューから人気絶頂の頃、そして結婚、出産など振り返って、コメントをしていた。記者会見とかの「原稿」ではなく、自分の言葉で流ちょうによどみなくしゃべっていた。自信に満ちあふれて、迷いがない引退への固い決意を読み取ることができた。

二十代後半に一時人気低迷する時があった。その頃から引退について考えるようになったそうである。でも「引退するときは、大きな会場でコンサートをしてから引退したい」と思っていたそうだ。「息子がいたから頑張れた」と話していた。テレビには意図的に出なくなっていたが、コンサートを中心に活動し、人気は復活してきた。20 周年で 5 大ドームツアーをやり 34 万人を動員した。もうこれで引退してもいいと考えるようになったそうだ。

昨年も NHK のリオ・オリンピックテーマソング「Hero」（ヒーロー）が大ヒットした。彼女はコンサートで、MC（曲と曲の間のトーク）は一切しないそうだ。きれっきれのダンスと歌だけでノンストップの 2 時間のコンサートをやるのだそうだ。引退公演は 5 大ドームツアー 15 公演、海外 5 公演で、なんと 70 万人を動員する予定だそうだ。

「CHASE THE CHANCE」という初期の頃の大ヒット曲がある。「夢なんて見るモンじゃない 語るモンじゃない 叶えるものだから」という歌詞がある。彼女は 25 年間ひた走りに走ってきて、それを手に入れた。最後のアルバム「Finally」は、発売初日でミリオンを記録した。NHK の番組の最後で「Finally」という歌を歌っていた。「守るものがあるから強くなれる」という歌詞がある。子どもの存在がそうだったのだろう。またその歌は、今の安室奈美恵の思いそのものだった。「願い続けた日が、ついに今スタートを切ったの」、「今ここに立つステージで、新しいストーリーが始まる」。

子どもの頃から歌や踊りのレッスンばかりしてきた彼女は、ついに第二の人生をワクワクしながらスタートさせたのだ。こんな引退があってもいい。

11月30日（木）その103 過ぎてしまえばいい思い出ー県議会の対応ー

おとといのニュースや昨日の新聞で知ったが、「12月県議会」が始まったようである。「そうか、もう12月議会か」と思うと、あのきつかった日々が懐かしく、走馬燈のようによみがえってきました。…いや、「今の私にはカンケーない」ことだから、ぶるぶるぶると、頭の中から追い出したけど…ああ、しつこくまた戻ってきた。(笑)

私は教務主任から行政経験0で義務教育課に行きました。「業界用語」を全く知らず、「原義」、「起案」、「レクチャー(説明)」、「調整」など、意味不明の言葉が飛び交っていて、「ヌーヤルバーガー、ゴヤーバーガー」状態でした。(笑) たった一枚の文書を出すのにも、何人もの人から印鑑をもらい(もちろん文書を修正されて)、2週間もかかることができました。

県議会は定例会が年に4回あり、そのほか分科会の文教厚生委員会、予算や決算特別委員会などもあります。県教育庁職員は、県民の信託に応えるため、県議会を最優先しなければなりません。県議は県民の代表だからです。特に新聞で騒がれているようなことに質問が集中します。最近では「辺野古の問題」、「米軍人の飲酒運転」、「子どもの貧困」などでしょうか？

赴任して一番最初の県議会で私の担当している業務にも2つ3つ質問の通告がありました。まず最初に、質問をする議員にお会いして、質問の真意をお尋ねした後で、答弁書の案の作成をはじめます。議会で読み上げるのは教育長ですが、その答弁書は担当課(担当者を中心に)が作成します。

案ができあがると、自分の担当主任、総括主任(当時)との調整を経て、「課長調整」をします。もちろんその都度、文章はどんどん修正されていきます。最初に書いた私の文章は、どこにあるんだろう？探すのに苦労します。あった！「県教育委員会といたしましては」、「…を推進します。」(笑)そして最後に「教育長調整」です。県議会の開会中教育長はずっと議場の中にいるので、終了後に調整をします。教育庁内には多くの課があるので、順番待ちです。その教育庁三役との調整で、やり直しを命じられることもあります。そうなると、一から出直しです。たたりーん…(涙！)

二度目に赴任したときは課長職だったので、県議会の分科会の「〇〇委員会」で教育長に代わって答弁することも多く、課内の事業すべてを頭に入れる必要があります(あるいは資料をパッと取り出せる)、さらに大変でした。

ときどき県議会が空転し、審議がストップすることもありました。そんなときもひたすら待つのです。あるとき夜中の0時まで空転したことがありました。教育長は議場に詰めているので、戻ってきて0時過ぎから後日分の調整が始まり、私が家に着いたのは午前5時でした。シャワーを浴びて、とんぼ返りで義務教に戻ってきたこともありました。…でも苦しかった日々も過ぎてしまえば(もうないと思えば)、いい思い出です。

あ、もしかしたらネットで義務教育課の誰かが、見ているかも知れない。コホン！「義務教育課の皆さん、12月議会頑張ってください。朝の来ない夜がないように、県議会も始まったら必ず終わりますから。クリスマスは、『クルシミマス』ではないと思いますよ。私は年金もなく、非常勤で薄給のため、「差し入れ」もできませんが、みなさんを応援しています。

本県教育の発展のため、日夜頑張ってください。ファイトオ～!!」(笑)